

STリハビリ例の紹介



毎月たくさんのお問い合わせありがとうございます。
 構音・嚥下・言語・高次脳機能など、様々なリハビリを実施していますが、
 中でも、**進行性疾患のリハビリ**の問い合わせが増えています。
 今回は、現在行っているリハビリの中で大変効果が出た例を紹介いたします。
 6・7月も、若干お試し利用枠を設けておりますので、お気軽にお声掛けください。
 言語聴覚士 森 陽子 TEL：022-221-5568

ST訪問リハビリのケース

奥様の悩みを聞いたケアマネージャー様が、ご自身の経験から、早期リハビリ開始を強く進めてくださったケースです。



お父さん、この頃、
薬が飲みにくくなり、
言葉もはっきりしなくなってきたみたい。
起きている時間が短くなってきたし。
すぐに横になってねむっちゃうの。

**パーキンソン病を合併して
いる場合、早期にリハビリを
開始した方がいいです！**



口唇や舌にもパーキンソン病の症状が出ています。
 飲み込みも若干弱くなっていますが、今すぐ食事形態を調整するほどではないようです。
 呼吸の力も弱くなっていますね。
 お話は、声が小さくて聞き取りにくく、長く話すと息切れもあるようです。

**進行性疾患は、いかに良い状態をキープするかが大事です。
 早めにリハビリを開始して下さってよかったです！**

口唇・舌の運動

パーキンソン症状はありますが、廃用要素が改善、大きく動かせるようになりました。



呼吸練習

しっかり息を吐けるようになってきました。
 声が大きくなりました！
 喀痰力もUPしています。



構音練習

お話が聞き取りやすくなりました。
 息切れも少なくなりました。



嚥下機能評価

のどに飲みきれなかった食物が少し残ります。食前・中・後と、絡んだ感覚がなくても、咳払いをして喀出しましょう。



今まで起きてリハビリしてなかったけど、今では40分、しっかり椅子に座ってリハビリしてるよ！
 フラフラしないどころか、逆にさわやかな気分だ！
 毎週待ち遠しいんだよ！



リハビリを楽しみにしているのよ！
 とっても貴重な時間なの。

舌の動きや呼吸など、よくなりましたね！
 しっかり起きてお話も楽しめるようになりました。
 これからも、お話やお食事の機能を維持・向上できるよう、リハビリを継続しましょう！

